

横暖ルーフ

工 法

新築

下 地

耐水合板

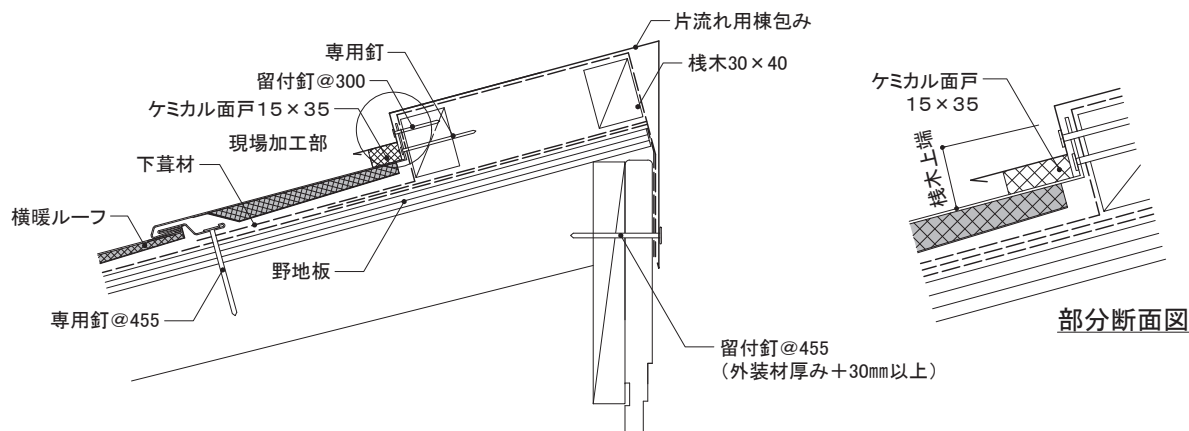
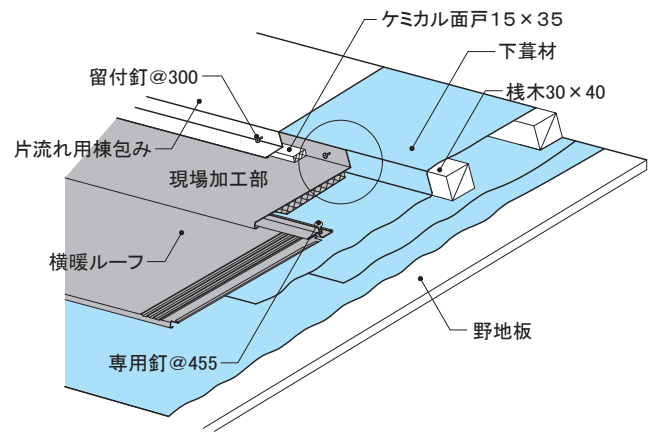
構造

木造

9) 片棟部

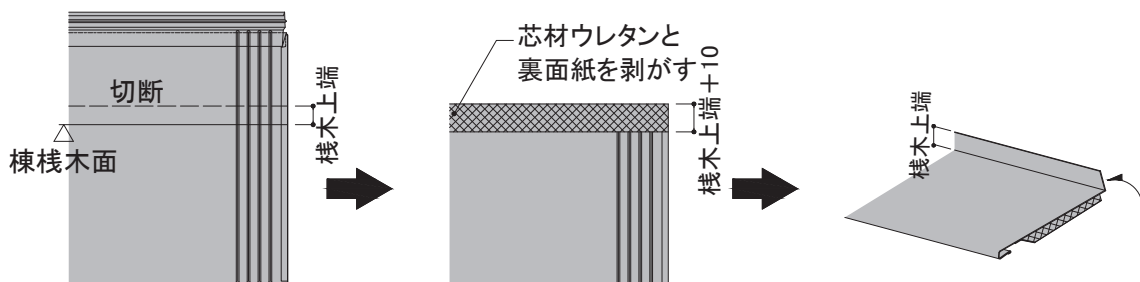
片流れ用棟包み

- 片流れ用棟包みの適用勾配と棧木位置はP231をご参照ください。
- 野地板の上に下葦材を張ってください。
- 棟部に棧木30mm×40mmを2ヶ所取り付け、棧木を包むように下葦材を増し張りします。
- ※片流れ用棟包みに乗らないでください。
工具・部材も置かないでください。片流れ用棟包みに変形するおそれがあります。
- 棟部を図のように加工した横暖ルーフ本体を棧木に施工し、本体の図の位置にケミカル面戸15×35を貼り付け、片流れ用棟包みをかぶせてください。片流れ用棟包みは、留付釘(ステンレススクリュー釘長さ32mm以上)を、300mm以下の間隔で棧木に留め付けてください。
- ※横暖ルーフα用のケミカル面戸15×35を使用します。
- 外壁面側は化粧破風あるいはサイディングの上から、留付釘(ステンレススクリュー釘・外装材厚み+30mm以上)で455mm以下の間隔で必ず下地に留め付けます。
- けらば部は片流れ用棟包みを加工して納めます。



■施工ポイント・現場加工図

- 横暖ルーフ本体の大棟部分を図のように加工してください。



- ①棟木面から図の寸法で切断します。
- ②棧木上端+10mmの位置まで芯材のウレタンと裏面紙を剥がしてください。
- ③端部から棧木上端の位置で折り曲げて立ち上げます。

センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属調縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧幕板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

センタールーフ
納まり詳細図

参考資料